

音脈

7-9

記念特集

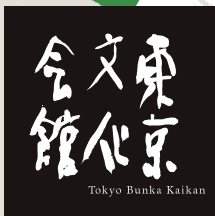
東京文化会館 開館60周年

Interview

カイヤ・サーリアホ

森山開次

ノルベルト・エルンスト



Tokyo Bunka Kaikan

60th Anniversary



60th Anniversary

東京文化会館 60周年に寄せて



公益財団法人東京都歴史文化財団
東京文化会館 館長

日枝 久

東京文化会館は、本年4月7日に開館60周年を迎えました。開館以来今日まで、この舞台上に立って感動を生み出されてこられた数々のアーティストやスタッフの皆様ならびに、長きにわたり当館にご来場くださったお客様に、心より感謝申し上げます。

当館は、「首都東京にオペラやバレエもできる本格的な音楽ホールを」という要望に応え、東京都が開都500年事業として建設し、1961年にオープンしまし

た。大小二つのホールと音楽資料室を備え、我が国のモダニズム建築の先駆者、前川國男が手掛けた戦後を代表する建築物のひとつとして、素晴らしい音響とともに今も高く評価されています。

当館では世界的なアーティストたちによるオーケストラ、オペラ、バレエ等の公演が連日繰り広げられてきましたが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの公演が中止や延期を余儀なくされました。しかしながら、このようなかつてない状況だからこそ、さらに知恵を絞り工夫を重ねて、今後お客様が安心して当館での時間を楽しんでいただけるよう、日々努力を重ねていくことが我々の使命であると考えています。

時代を取り巻く状況は大きく変化していますが、いつの世も感性を耕し、心を潤わせ、精神に力を与える芸術文化の灯を絶やさないう、これからさらに末永く、「音楽・舞台芸術の殿堂」の名にふさわしい劇場であり続けたいと思います。

私と東京文化会館



指揮者
リッカルド・ムーティ

東京文化会館の60周年に際して心からお祝い申し上げます。

この60年の間にどれほどの世界中のオーケストラや歌劇場が東京文化会館で公演を行い、この劇場の美しい音響に魅了されたことでしょうか。

私が初めて東京文化会館で指揮したのは1985年にフィラデルフィア管弦楽団と来日した時でした。大きな劇場、満員の観客、今でもその時の興奮と感動が思い出されます。

その後もミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、スカラ座管弦楽団、シカゴ交響楽団とともにオペラとコンサートで多くの公演を行ってきました。これからもこの素晴らしい劇場で演奏する機会に恵まれますように願っています。

東京という偉大な街の文化の中心となる劇場として、いつまでも日本の観客に音楽を楽しむ喜びを与えるばかりでなく、海外から来日するアーティストたちの演奏の場として素晴らしい音楽を届け続けますようにと祈っています。



チェリスト
堤 剛

上野の森に東京文化会館が建設されたのは本当に画期的な出来事でした。外観もそれ迄の演奏会場と比べてとても斬新なものでしたし、それ以上に本格的なホールとしての雰囲気も備えていました。また大ホールの客席の色違いも新鮮な印象を与えて呉れました。

大ホール、小ホール共にそれ迄に無かった素晴らしい響けがあり、大きな音を出すためには力を込めて弾くことだと思いついていたものが、一転してホールそのものを響かせるようになりました。

私自身、数多くの貴重な体験を通じて沢山のことを学ばせて頂きました。各々の音楽会が自分にとってチャレンジの場であると同時に、音楽をする楽しみも身体で覚えました。演奏家にとっては勿論ですが、お客様も大層満足されたのではないのでしょうか。

今も東京音楽コンクール等でお世話になっておりますが、講評などをする際このホールで演奏出来ることの素晴らしさ、大事さを強調しています。



松山バレエ団プリマバレリーナ
森下洋子

故郷のように見守り育てていただいている東京文化会館が、60周年の節目の年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。

最初に東京文化会館の舞台上に立たせていただいたのは、1962年の「白鳥の湖」公演。舞台上も楽屋もリハーサル室も全て、アーティストを大切に思っ作ってくださっていることを強く肌で感じ、舞台上に立てたことを、とても幸せに思いました。また、客席からの空気がとてもあたたかく、包み込んでいただくような気持ちになる素晴らしい劇場だとも思います。

今年は私も舞踊歴70年の年となり、この冬には「くるみ割り人形」を上演させていただきます。コロナ禍の今こそ、「芸術は人々の幸せのためにある」という思いを大切に、松山バレエ団全員で、皆様の心に夢や希望をお届けできるよう、つとめたく思います。東京文化会館からさらに多くの素晴らしい舞台が届けられますよう願っております。

1961年開館当時の写真



東京文化会館 撮影 渡辺義雄

「建築はファッションではない。建築のディテールを考えることによって表面の形がでてこないといけない」「素材に対する基本的なテクノロジカル・アプローチを身につけた上で、その素材を縦横に駆使してこそ建築は自由を獲得できる」。こうした考えは「テクニカル・アプローチ」と呼ばれ前川の建築手法を表すキーワードとなっており、年代に応じて3つの系譜・変遷がある。

1935年～1950年代の「軽量化・工業化の建築」、1950年代後半～1960年代の「打放しコンクリートの建築」、1960年代～1970年代以降の「打込みタイトルの建築」である。

これらに共通するデザインボキャブラリーは、単位空間の増殖・分散、一筆描き・ムーブメント、小都市を創る、環境・風土に馴染む、素材を活かす、前川カラーなどが挙げられる。

「打放しコンクリートの建築」の系譜に位置する東京文化会館の佇まいは、ボリュームある大ホール、小ホールの分散配

置の余白に対角するホワイトエを、サッシの大きな開口部、大ホールの大理石砕石打込みPCパネルの壁、小ホールの前川カラー「赤い壁」で囲い、人々を迎える反りあがった打放しコンクリートのダイナミックな大庇が覆い存在感を放っている。

ホワイトエは、前川カラー「成層圏ブルー」の天井に散りばめられた照明「天の川」、型枠の木肌を残す打放しコンクリートの柱、4色の三角タイルでデザインされた「落ち葉のイメージ」の床と、レベルの異なるテラス・小広場の階段、小ホールへ繋がるスロープなどが空間にムーブメントとリズムを与えている。

評論家・加藤周一は、著書「日本その心とかたち」で、「建築の建つ立地を利用して人々に空間を開放し、建築内外にレベルの異なる小都市のような広場を設ける」前川的设计手法を「戦後日本の近代建築における一つの到達点」と評している。夜は照明がガラス窓に映り込み満天の星空のように美しい。

六角形の大ホール客席は、馬の腹掛けのように湾曲した天井、舞台から迫り出した天井反射板、舞台両袖の向井良吉作のブナ集成材の拡散板レリーフ、上向きに6.5度傾斜した拡散・吸音の壁と迫り出した4層のバルコニー席が1階の客席を包んでいる。

客席は他に類をみない満席感を演出する4色布地の「お花畑」。

この空間構成が東京文化会館固有の響きを創っている。すなわち舞台からくる直接音と天井反射板を介して同じ方向から来る初期反射音が直接音を強調する「ハース効果=先行音効果」により、音の響きに奥行感・立体感・輪郭をもたらしているのである。



小ホールはファンシェイブ(扇型)ステージ。舞台正面の反射板「昇り屏風」と打放しコンクリートの粗々しい内壁、後席の篝火のイメージの矢羽形燈照明とも流政之作。あたかも天の岩戸の前で八百万の神々が舞を奏でるがごとき雰囲気醸し出す。

そして随所にみられる木・石の手摺りや床・壁のタイル・コンクリート等、歳月を経ても変わらぬ素材による存在感と手触り感あるデザインが創り出す造型は、人に不易なものへの精神の安寧と居心地の良さを与え、空間の魅力に寄与している。

建築は時代の社会像を写し出す文化資産と言う。東京文化会館が我が国のモダニズム建築史における資産として、同時に戦後の近代劇場史に大きな足跡を残した記念碑的資産として、さらには新しくできた駅前広場=エスプラナード(アプローチ前広場)に前川が師事したル・コルビュジエの世界遺産：国立西洋美術館と向い合って現存する唯一の地域資産として、これからも永く社会の記憶に留めたいと願ってやまない。



コルビュジエと前川國男

60th Anniversary



Instagram公式アカウントを開設しました

1961年の開館当時の写真や、ル・コルビュジエの弟子であった前川國男の設計によるモダニズム建築の傑作としての当館を、様々な角度からとらえた写真など、60年を経てなお大勢のお客様にご来館いただいている当館の魅力を、存分にお伝えします。

Instagram公式アカウント: [tokyobunkakaikan](https://www.instagram.com/tokyobunkakaikan)

東京文化会館では、開館60周年を記念して さまざまな事業を展開します

当館では、お客様への日頃の感謝の気持ちを込めて、様々な記念事業を予定しております。公式ウェブサイトやSNSで発信してまいりますので、ぜひご注目ください。



スペシャルコラボメニュー

東京文化会館内のレストラン「フォレストィーユ精養軒」にて、開館当時の復刻洋食メニュー、60周年を記念したスペシャルメニューの提供や上野・御徒町周辺の地域と協力した若手音楽家支援事業などを展開していきます。



オリジナルグッズ販売中

東京文化会館内のミュージックギフトショップ「A.P.J. PLAY MUSIC」と和小物ショップ「匠音」にて、開館60周年を記念したオリジナルグッズのトートバッグと一筆箋、クリアファイルを数量限定で販売いたします。

トートバッグ 1,320円/一筆箋 330円/クリアファイル 165円 (各税込)

記念写真展の開催

1961年の開館当初の東京文化会館を、様々な角度から撮影した写真家、渡辺義雄によるモノクロ写真の写真展を開催いたします。日時：未定(観覧無料)



エントランスロビーの「成層圏ブルー」

前川國男 略歴

1905年(明治38年)～1986年(昭和61年)。新潟県生まれ。1928年、東京帝国大学工学部建築学科卒業。パリの世界的建築家、ル・コルビュジエのアトリエで学ぶ。帰国後、レイモンド事務所所員を経て、1935年、前川國男建築設計事務所を設立。代表作に、東京文化会館、熊本県立美術館、宮城県美術館、山梨県立美術館、神奈川県立音楽堂、国立国会図書館等がある。受賞歴として、芸術院賞、日本建築学会大賞、朝日賞、毎日芸術賞、東京都文化賞、フランス国家功労勲章、スウェーデン王室名誉勲章、フィンランド国勲章等がある。訳書としてル・コルビュジエの「今日の装飾芸術」がある。



橋本 功 略歴

(株)前川建築設計事務所 所長

1945年神奈川県生まれ。1970年日本大学理工学部建築学科卒業後、(株)前川國男建築設計事務所入所。1994年(株)前川建築設計事務所取締役。2000年代表取締役就任、現在に至る。【主な担当作品】福岡市美術館(1979)、埼玉県立自然史博物館(1981)、国立音楽大学・講堂(1983)・附属幼稚園(1984)・附属小学校(2008)、千葉県東総文化会館(1991)、埼玉県児玉町総合文化会館(1995)など。また多くの前川建築の保存・継承・リニューアルを手掛ける。



東京文化会館 舞台芸術創造事業 (国際共同制作)

オペラ

『Only the Sound Remains -余韻-』

(日本初演 / 新制作)

全2部 / 原語 (英語) 上演 日本語字幕付

カイヤ・サーリアホ

(作曲)

神秘的な世界観と、優雅で劇的な響きによって、いまや世界屈指の人気作曲家となったカイヤ・サーリアホ (1952年ヘルシンキ生まれ)。2016年にアムステルダムで世界初演されて大きな反響を呼んだオペラ『Only the Sound Remains -余韻-』の新制作による日本初演がいよいよ迫っている。フランスの自宅と東京を結んで、リモート・インタビューをおこなった。

文 / 林田直樹 (音楽ジャーナリスト・評論家)

—あなたの音楽の魔法のような響きの秘密はどこにあるのでしょうか。

それはやはり、イマジネーションから出発していると思います。物心ついてから私は音を、音楽を想像することが、自分の中の作業の中で大きな要素を占めているのです。まず想像したものを現実のものにすることが、私の仕事のステップなのだろうと思っています。その仕事は何によって栄養を与えられているかという、音響を分析したり、構築したり、自分の想像したものを具体化するために、数学的、科学的に分析することも大事になります。本能的なものを大事にしつつ、常に新しい知識を入れていくことも必要です。

ときには響きを色に例えてみて、この響きはどういう色にあたるのかということも考えてみながら仕事をすることもあります。想像力をできるだけ豊かにすること。まずはそれが第一歩です。

—昔の作曲家は、たとえばベートーヴェンは森の中を散歩して、自然から多くのインスピレーションを得ていました。シベリウスもそうだったでしょうし、多くの作曲家たちが世界の音を、自然界の音を、生かすという作曲をしてきました。サーリアホさんの場合も、森や湖や、あるいは都会の音でもいいのですが、この世の中にある音を聴きとって加工するという考え方でいいのでしょうか？

そうですね。自然の音を私が自分の作品に多く用いているということは、おそらくよくご存じかと思います。私は自然が大好きですが、特に光とか、空の色を好んで素材として使います。エレクトロニクスの部分だけでなく、鳥の声や風の音や雨の音といったものを組み合わせて、オーケストラに演奏してもらおうのです。

自然の風景はもちろん好きですが、それを描写するという形で作曲しているとは言えないと思います。もちろん自然からインスパイアされるけれど、それを作品に移し替えるときには、必ず作曲をしている自分がいて、自分の音楽をクリエイティブしているということになります。インスパイアされるがままにそれを映し出しているという感覚ではありません。自分の作曲をするときに、既存のさまざまな音楽の要素を学問的に用いたりしながら…ただしあくまでも作品を作っているのは自分自身なのです。

—オペラをオペラたらしめる条件とはどのようなものだとお考えですか。

ドラマトゥルギーが大事なのです。それに加えて、オペラでは登場人物が展開し変化を遂げていく。その人物たち同士のコミュニケーションがあり、そのコミュニケーションは物語とのコミュニケーションであり、人々とのコミュニケーションでもある。大切なのは人間としての経験がその中に盛り込まれているかどうかです。音楽とは特殊な芸術だと私は思います。香りのように瞬間的に染み込んでくる。人に直接的に触れて、人生を動かすことも可能なのです。そして人がどう変化するかということですが、ドラマトゥルギーが「私」自身の人生とかかわっているかどうか。「私」自身の物語として成立するかどうか。そこがコンサートの音楽と、オペラの音楽との大きな違いだと思います。

—今回のオペラは能が原作となっていますが、一つではなく二つの能を組み合わせた理由は？

私自身、能の何に興味をもったかということ、いずれの作品においても出発点は現実世界の人間であり、それが別の世界の存在と出会うということです。どちらの能もその基本は同じですが、今回の二つの作品についてはコントラストが効いています。「経正」については暗くおどろおどろしい面が強いのですが、「羽衣」は光に満ちていて、おとぎ話的なものです。私は日本人としてではなく、外からのまなざしとして、この物語を知りました。テキスト自体は詩的な解釈をした、短くまとめられたものです。二つの物語を使うことによって二回同じようなストーリーを体験するのですが、全く違う色彩がある



© Maant Kyohianu

ので、違う味わい方をしながら生きることができる。そういう面白さが、二つの能を用いることでできるのではないかと考えました。普通であれば当たり前人間が生きていて、風変わりな無限の存在に出会って、そこから何か神秘的な体験をしていく物語なのですが、角度を変えて、色を変えて、二回体験できる。

—「ただ音のみが残る」というタイトルは非常に興味深いです。演劇でも文学でもすぐれた作品は必ず音を大事にしていると思うからです。このタイトルを付けた理由をお教えてください。

不思議なタイトルですね。実際には「経正」の台本からとったのですが、超越的な存在が登場して、最後には消えて、音だけが残る。そういう抽象的なタイトルにしたかったのです。しかも二つの作品ですから、観終わった後に、お客様に何かを思い起こしてもらうための手がかりを仕込むようなものにもしたかった。同時にオープンなものにしたいと思いました。たとえば私たちはこの世界でさまざまなものに取り囲まれている。その囲まれたものの本質…最後に残るものは何かということ、風であったり海であったり、そういうものの気配であったりする、そ

ういう感覚に近いですね。すべてを思い起こさせるということだと思いますと、たとえば二つの作品、どちらも、経正が立ち去って音しか残らなかったというのと同じで、羽衣は海の物語で、最後は風だけが吹いている。そういう、どこかへ連れて行ってくれる存在が、最後にかき消えて、音だけが残る。そういう一つの詩的なものにしたかったのです。

Information

2021年6月6日(日) 15:00 大ホール

作曲 カイヤ・サーリアホ

指揮 クレマン・マオ・タカス

演出・美術・衣裳・映像 アレクシ・バリエール

振付 森山開次

出演 ミハウ・スワヴェツキ (カウンターテナー)
 プライアン・マリー (バス・バリトン)
 森山開次 (ダンス)
 東京文化会館チェンバーオーケストラ (管弦楽)
 新国立劇場合唱団 (コーラス)

料金 S席 13,200円 A席 11,000円 B席 8,800円
 C席 6,600円 D席 4,400円 E席 2,200円

※各種割引あり
 ※当初発表しておりました内容から、上記のとおり変更となりました。



東京文化会館 舞台芸術創造事業〈国際共同制作〉
オペラ
『Only the Sound Remains -余韻-』
〈日本初演／新制作〉
全2部／原語(英語)上演 日本語字幕付

森山開次

(振付・ダンス)

カイヤ・サーリアホ作曲オペラ『Only the Sound Remains』で振付を手がけ、ダンサーとしても出演する森山開次。演出のアレクシ・バリエールとの交流を経て今、思い描くイメージについて語る。

文／高橋彩子(舞踊・演劇ライター)

コンテンポラリー・ダンスの世界で唯一無二の存在感を発揮している森山開次。『羽衣』を含め様々な能の曲を題材にダンス作品を発表し続け、19年には全国共同制作オペラ『ドン・ジョヴァンニ』の演出も手がけた彼は、能を原作とする現代オペラに携わるにはうってつけの人材だ。今回の『Only the Sound Remains -余韻-』で森山は、振付と出演を担当する。

「このオペラは、能『経正』を原作とする第1部と『羽衣』が原作の第2部の二部構成になっていて、演出のバリエールさんはどちらもモノトーンのシンプルな世界を構想しているようです。世界初演時(2016年ピーター・セラーズ演出)にはダンサーは第2部にしか出演していなかったのですが、今回はバリエールさんから、第1部にも出てほしいと言われて。第1部では経正の霊、第2部では天人を、どちらもカウンターテナーの方と一緒に演じることになります。経正は楽器を弾く繊細さも持ちつつ武将であり、天人は女性的なイメージなので、男性性と女性性の対比みたいなものを見せたいですね。天人は最後、『天上界ではないけれど、地上もやはり美しい』と言って去っていく。これは、人間の疑う心、欲や妬みなども含めて、美しいと言っているのではないかと僕は感じるんです。そうした天人なりの感情の起伏を描いた上で、天に昇ってしまう瞬間には自我も感情もなくひたすら舞う姿を見せたいと考えています」

サーリアホの音楽に、森山はスピリチュアルなものを感じるという。

「空気や風、揺らめく炎といったものへの敏感さがあり、そこから人の心や精霊の声、悪霊の声まで聴こえてくるような感覚を覚えます。とても繊細な世界で、その空気や風にチャンネルを合わせられるかどうかは、聴く人による。聴こえる音が、あるいは聴こえ方が、人によって全然違う音楽なのではないでしょうか。僕が特に好きなのは、ウィスパーの合唱の入り方。能の“地謡”的な発想かもしれませんが、聴いていてただただ心地よく、踊りやすいんですよ」

『ドン・ジョヴァンニ』では、自身のイメージを出演者達に託す作業を楽しみながらも、圧倒的な音の世界に

自ら身を委ねて演じたかったとも語る森山。

「僕はずっと、声を出して表現したい人間でした。舞台上で叫んだり喋ったりささやいたり怒鳴ったり歌ったりしたかった。声は観客にダイレクトに“触りに”行けますよね。音の圧を与えることもできるし、踊っていても音楽がジャンツと鳴ったら操られたようになる。それほど音の影響は強いので憧れます。だから今回はオペラ歌手たちが歌う空間と一緒に出演できることが嬉しいですし、その中で自分ならではの踊りをみつけていけたらと思います」

今は、アーティストの活動も制約されがちなコロナ禍。今回の創作にも通常以上の困難が予想される。しかし森山は昨年の自粛期間中、それまでとは違う、かけがえのない時を過ごしたようだ。

「もちろん、不安もありましたが、空を見上げ、移ろいゆく雲を見て……というゆったりとした日々の中で、時間の感覚が変わったんです。こういう仕事をする以上、花や風、外の空気の変化などに敏感でなければいけないのに、日常の出来事に忙殺されてなかなか気づけなくなっていた。それをコロナ禍で取り戻せた感じがあって。僕はこの時間を“天人タイム”と名づけました(笑)。まさにそれは、サーリアホさんの音楽に通じるもの。ですから今回の僕の役割は、音楽をしっかりと味わい、天人が舞い降りてきたような時間と空間を創ること。観客にもぜひ、特別な“天人タイム”をお届けしたいですね」



© Sadato Ishizuka

← 公演情報はP07参照

オペラ夏の祭典2019-20 Japan ↔ Tokyo ↔ World
『ニュルンベルクのマイスタージンガー』
(新制作)
全3幕／原語(ドイツ語)上演 日本語・英語字幕付

ノルベルト・エルンスト

(ヴァルター・フォン・シュトルツィング役)

“オペラ夏の祭典2019-20 Japan ↔ Tokyo ↔ World”の第2弾、ワーグナー作曲の『ニュルンベルクのマイスタージンガー』で、初めてヴァルター・フォン・シュトルツィング役を務めるというノルベルト・エルンストの新着インタビューをお送りする。

取材・文／編集部

——昨年コロナ禍により多くの公演が中止となりましたが、どのように過ごしていたのでしょうか。

私は様々な役の勉強に、本当に多くの時間を費やしました。特に『ナクソス島のアリアドネ』のバックス役、『トリスタンとイゾルデ』のトリスタン役です。そして、私のようなフリーランスのオペラ歌手のために何ができるのか、どのような問題が私たちの社会にあるのかということを一生涯懸命勉強してきました。

——『ニュルンベルクのマイスタージンガー』ではこれまでダーヴィット役を多く歌われていますが、今回はヴァルター役ですね。

ダーヴィット役は20年で80回は歌ってきましたが、ヴァルター役は今回が初めてです。この役はそんなに勉強しなくても、本当はもう歌えていたんです。長い間このオペラに出てきましたので、どの役もほとんど全部暗譜で歌えます。

このオペラのハイライトは3幕のクインテット(五重唱)です。それまでの1幕から3幕冒頭までで展開されてきたものが、やっとここで平和に帰結するのです。ヴァルターとエーファが一緒になり、また、ダーヴィットとマグダレーネが一緒になり、そこでハンス・ザックスは、本当はエーファへの愛があるけれど、ヴァルターに、「彼を選びなさい、私はもう年を取っています」と言いますね。この瞬間に5人が平和な域に達するのです。

——今回共演する方とこれまでご一緒されたことはありますか。

大野さんとは一緒にしたいと何回も思っていたのですが、残念ながら叶っていませんでしたので、今回共演できるのはとても嬉しいです。トーマス・ヨハネス・マイヤーさんとはパイロイトでも一緒になりましたし、アドリアン・エレートさんとはウィーン国立歌劇場でたくさん共演していますし、パイロイト音楽祭の『ニュルンベルクのマイスタージンガー』と一緒に出演しました。

——ワーグナーにはどういう印象をお持ちですか。

ヴァルターとトリスタン、この2つの役はリヒャルト・ワー



© michaelpoehn

グナーそのものだと思うのです。ヴァルターはワーグナーの作曲家としての天才性や自由さをとてもシンボリックに表していると思います。トリスタンはマチルダ・ヴェーゼンドンクへの愛、これがとても強く出ていますね。

また、ワーグナーは他の作曲家と大きく違い、時間の流れを全く考慮していないように私には思えますね。だから、何かを言おうとしたら、それだけの長さがどうしても彼には必要になってきたのでしょうか。彼にとっては、自身が作る音楽と台本、それだけが大事なわけですね。それ以外のものは全く考慮する必要がないものだったのです。

——エルンストさんは2016年のウィーン国立歌劇場日本公演『ナクソス島のアリアドネ』に出演され、東京文化会館の舞台に立たれています。東京文化会館の印象はどうですか。

とても素晴らしかったですよ。建物も音響も雰囲気も良かったです。声を大にして申し上げたいのは、スタッフの方々、テクニカル・スタッフの方々、全てが本当に素晴らしかったですね。素晴らしいチームだったと思います。

——最後にメッセージをお願いします。

コロナ禍の時代にこの作品を上演できるということ、東京に行かせていただけることを本当に心から嬉しく思っています。世界中が今コロナ禍で本当に病んでいるときに、この作品のとてもポジティブなエネルギーを皆さま方にお届けできることは、すごく大切なことだと思っています。

Information

2021年8月4日(水)・7日(土) 14:00 大ホール

総合プロデューズ・指揮 大野和士

演出 イェンス＝ダニエル・ヘルツォーク

出演 ザックス：トーマス・ヨハネス・マイヤー
ボーグナー：ビャーニ・トール・クリスティンソン
バックメッサー：アドリアン・エレート
ヴァルター：ノルベルト・エルンスト
ダーヴィット：望月哲也 エーファ：林 正子 他

料金 S席29,700円 A席23,100円 B席18,700円
C席14,300円 D席9,900円 E席5,500円
F席3,300円 25歳以下3,300円(A・B席/数量限定)

※ハンディキャップ割引、団体割引あり



東京文化会館音楽監督

小林研一郎

退任挨拶



日本の芸術文化の発信基地として鼓動し続けた東京文化会館。支える皆様のご尽力の元、そして、会館にいらしてくださる方々の声援に支えられ、国内のみならず、海外からも「憧れの舞台」で在り続けた栄光の時々を経て、60周年を迎えられたこと、お祝い申し上げます。

2012年より任に就きました東京文化会館音楽監督を本年3月末で退任致しました。

戦前生まれの僕にはイノベーション的なことは何もできませんでしたし、僕はやはり、指揮棒を持って「なんぼ」の人間であることを痛感し、過分な立場であったと反省ばかりです。

若い世代の方に「温故知新」を礎えに、フロントランナーとしての東京文化会館のこれからの在り方を模索して欲しいと願っています。

有難うございました。

小林研一郎

小林研一郎先生には、当館の音楽監督として、長きに渡り日本の音楽文化の歴史における輝かしい時代を築き上げていただきました。感謝の念に堪えません。

真摯で情熱的な「炎のマエストロ」の今後益々のご活躍を心より祈念しております。

東京文化会館 館長 日枝 久

東京都交響楽団 主催公演のご案内



第935回 定期演奏会Aシリーズ

急逝したオリヴァー・ナッセンに代わって2018年9月の定期を指揮したローレンス・レネスが再登場です。

前半は船乗りをイメージした選曲。英国の現代作曲家サリー・ビーミッシュが書いた美しいヴァイオリン協奏曲第2番は、9世紀アングロサクソンの詩に触発された曲。名手タバア・ツインマーマンのために書かれ、タバアの夫でもあったデヴィッド・シャロンの指揮で初演予定でしたが、シャロンが急逝(2000年9月都響客演中)したため、彼の思い出にも捧げられています。後半は、少年時代は体操選手として本格的なトレーニングを積んだというレネスにふさわしい、明快さと運動性みなぎるプロコフィエフの最高傑作・第5交響曲が駆け抜けます。



ローレンス・レネス ©Mats Bäcker



タバア・ツインマーマン ©Marco Borggreve

Information

日時 2021年9月27日(月) 19:00開演(18:15開場)

場所 東京文化会館

出演 指揮：ローレンス・レネス
ヴァイオリン：タバア・ツインマーマン

曲目 ワーグナー：歌劇『さまよえるオランダ人』序曲
サリー・ビーミッシュ：ヴァイオリン協奏曲第2番《船乗り》(2011) [日本初演]
プロコフィエフ：交響曲第5番 変ロ長調 op.100

料金 S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000
C ¥4,000 Ex ¥2,700
8月中旬発売予定

ご予約・お問い合わせ

都響ガイド

0570-056-057

(月～金：10時～18時/土日祝休み)

※主催公演開催日等は休業または営業時間が変更となります。

都響WEBチケット

<https://www.tmso.or.jp>

※インターネットで席を選んで購入できます。

新型コロナウイルス感染症の流行状況の変化等により、公演中止及び出演者・曲目等が変更になる場合があります。最新の情報は都響ホームページをご確認ください。



MUSIC LIBRARY

音楽資料室より

音楽資料室は、東京文化会館4階にある音楽専門の図書館です。クラシック音楽を中心とした資料(楽譜、CD・LP、映像など)を所蔵しており、無料で閲覧・視聴ができます。



▶利用案内はこちら

所蔵資料のご紹介

東京文化会館の開館から半年後の1961年(昭和36年)10月に、公立では唯一の音楽専門図書館として音楽資料室も誕生し、今年で開室60周年になります。開館以来、当館で開催された公演プログラムは音楽資料室で所蔵しており、全て閲覧可能です。

こちらの写真は、文化会館の10～55周年の節目に行われた記念演奏会のプログラムです。左上から古い順に並べて手にとってみると、舞台上で繰り広げられた素晴らしい公演の数々に圧倒され胸が熱くなります。この60年間を会館と共にタイムトラベルをしているような不思議な感覚も味わえそうです。実際に公演に行かれた方は、演目を見るだけでも当時の感動が蘇るかもしれません。このように複数のプログラムを同時に閲覧することができるのも、資料室ならではの楽しみ方の一つです。

過去の公演の出演者や曲目等はインターネットでも検索できます。「東京文化会館アーカイブ」 <https://i.t-bunka.jp/>



ご支援のお願い

東京文化会館は、2021年4月7日に開館60周年を迎えました。

今後、当館の主催事業をさらに充実強化するため、皆様からのご支援をお願い申し上げます。

主に個人様向け 賛助会員 募集中

会員期間：1年間 会費：20,000円(年額)

- 会費は主に次の3つを目的とする当館主催事業をより充実、発展させるために活用いたします。
 - ・音楽・舞台芸術の創造発信
 - ・子供たちの豊かな感性の育成と社会包摂への取組
 - ・次代を担う新進音楽家等の人材育成
- 会員期間中、下記の発行物をお届けいたします。
 - ・東京文化会館情報誌「音脈」(年4回発行)
 - ・東京文化会館「アニュアル・レポート」(年1回年度末発行)
- 会員期間中、主催事業の稽古見学等へご案内いたします。

※本会費は、公益財団法人東京都歴史文化財団への寄付となり、税制上の優遇措置を受けることができます。



ご登録・詳細はこちら



オフィシャル・パートナー 募集中

これからの東京文化会館をともに創り育てていくパートナーとして、法人・団体様向けの協賛制度をご用意しております。ぜひご検討ください。



ご登録・詳細はこちら

こちらも募集中

東京文化会館メンバーズ(入会無料)

メールにて当館の最新情報をお届けする無料の会員制度「東京文化会館メンバーズ」にもぜひご登録ください。



ご登録・詳細はこちら

UENO music HOLIDAY 2021.7.25日

子供たちと一緒に楽しめるコンサートやワークショップを集めた「UENO music HOLIDAY」が、今年も開催されます。例年は大ホールで開催していた「夏休み子ども音楽会」は、今年は小ホールで11時と14時の2回上演。ぜひご参加ください！

夏休み子ども音楽会 2021 《上野の森文化探検》

親子で楽しめるお話し付きの室内楽コンサート。弦楽器とピアノが織りなすバレエ音楽&ピアノ五重奏を小ホールの素晴らしい響きで味わおう。



11:00 / 14:00 会場 小ホール

出演 弦楽四重奏：東京都交響楽団メンバーによるアンサンブル
ピアノ：山田剛史
*第5回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞

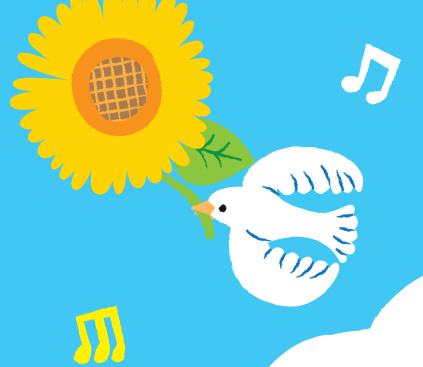
プログラム モーツァルト：
アイネ・クライネ・ナハトムジーク 長調 K.525 より 第1楽章
チャイコフスキー：
バレエ『くるみ割り人形』より トレバック
シューマン：
ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44 より 第1楽章 ほか

料金（上野1dayバスを含む） 全席指定
小中学生1,100円（全席共通）
大人S席2,200円 A席1,100円

上野1dayバス 「夏休み子ども音楽会」のみの特典です。周辺の8施設で割引や無料入場などの優待が受けられるほか、上野のれん会加盟の17店舗（飲食店等）でサービスを受けられます。



公演詳細はこちら



上野の森で、
お気に入りの音楽を
みつける夏休み！

Music Program TOKYO

Workshop Workshop! 国際連携企画 東京文化会館ミュージック・ ワークショップ

～0歳から大人まで～
見つけよう、音楽で広がる新しい世界

あけてみよう！海のふしぎな宝箱

音楽であふれる海の底にふしぎな宝箱が2つ。
みんなで宝箱をあけて海の仲間たちと遊ぼう！

会場 リハーサル室
定員 各回8名程度
出演 桜井しおり、野口綾子、吉澤延隆（14:30の回のみ）
（東京文化会館ワークショップ・リーダー）

- 10:30～11:15 対象：19～35か月
- 12:00～12:45 対象：3～4歳
- 14:30～15:15 対象：3歳～小学校低学年
〔聴覚に障害のある方〕〈簡単な手話付き〉

One Day セッション

ワークショップ・リーダーと共に音楽を創ろう！

会場 小ホール
定員 20名程度
出演 伊原小百合、坂本夏樹、櫻井音斗、塚本江里子
（東京文化会館ワークショップ・リーダー）

- 16:30～18:00 対象：小学生～大人

料金 550円



公演詳細はこちら



© Takagi Design



「いつ来ても、おいしい」をこれからも
明治5年の創業以来
歴代の料理長に受け継がれ、
磨き続けられる確かな味と技。
時代を超えて変わらない
心づくしのおもてなし。
これからもお客様への感謝の心を
おいしさに込めて、
「よりよきサービスよりよき内容」を
モットーに、進化し続けてまいります。
上野精養軒 19代 総料理長
富田高彦



上野本店
グリルフクシマ

東京都台東区上野公園 4-58 TEL: 03 (3821) 2181 (代)



上野本店
カフェランドレー

東京都台東区上野公園 4-58 TEL: 03 (3821) 2181 (代)



サイコーサン
3153店
UEN03153ビル3階

JR 上野駅不忍口前1分

東京都台東区上野公園 1-57 TEL: 03 (3832) 3153



文化会館店
フォレストィーユ
東京文化会館2階

東京都台東区上野公園 5-45 TEL: 03 (3821) 9151



上野精養軒

上野公園内不忍池畔
ご婚礼・ご宴会・レストラン
<https://www.seiyoken.co.jp/>

3日 14:00
4日 14:00

東京バレエ団<HOPE JAPAN>2021
東日本大震災10年/コロナ禍 復興プロジェクト

【演目】「ボレロ」「ギリシャの踊り」「舞楽」「ロミオとジュリエット」
【振付】モリス・ベジャール
【音楽】ラヴェル、ミクス・テオドラキス、黛 敏郎、ベルリオーズ
※特別録音による音源を使用します。

【出演】上野水香(3日) 柄本 弾(3日、4日) 他
【料金】S13,000 A11,000 B9,000 C7,000 D5,000 E3,000
◎NBSチケットセンター 03-3791-8888

16日 18:30
17日 14:00
18日 14:00
19日 14:00

東京二期会オペラ劇場『ファルスタッフ』

【演目】オペラ『ファルスタッフ』全3幕 原語(イタリア語)上演 日本語・英語字幕付き
【作曲】ヴェルディ
【指揮】ベルトラン・ド・ピリー
【演出】ロラン・ペリー

【出演】	[16日/18日]	[17日/19日]
ファルスタッフ:	今井俊輔	黒田 博
フォード:	清水勇磨	小森輝彦
フェントン:	宮里直樹	山本耕平
カイウス:	吉田 連	澤原行正
バルドルフォ:	児玉和弘	下村将太
ピストーラ:	加藤宏隆	狩野賢一
アリーチェ:	高橋絵理	大山亜紀子
ナンネッタ:	三宅理恵	全 詠玉
クイックリー:	中島郁子	塩崎めぐみ
メグ:	花房英里子	金澤桃子

【合唱】二期会合唱団
【管弦楽】東京フィルハーモニー交響楽団
【料金】[16日] プレミエ・スペシャル料金 S16,000 A13,000 B10,000 C8,000 D6,000 学生2,000
[17日/18日/19日] S17,000 A14,000 B11,000 C8,000 D6,000 学生2,000
◎二期会チケットセンター 03-3796-1831 チケットスペース 03-3234-9999



©Javier del Real/TEATRO REAL
ベルトラン・ド・ピリー ©Marco Borggreve
ロラン・ペリー ©Carole Parodi

7日 19:00

新進演奏家育成プロジェクト
リサイタル・シリーズTOKYO101
高梨瑞紀ヴァイオラ・リサイタル

【出演】高梨瑞紀(Va) 山崎早登美(Pf)
【曲目】シューマン: おとぎの絵本 他
【料金】指定2,500
◎日本演奏連盟 03-3539-5131

8日 19:00

第140回アンサンブル of トウキョウ 定期演奏会
「力強くロマンティック。奥行き溢れる`弦`の調べ」

【出演】吉原葉子(Vn) 佐原敦子(Vn) 岡 さおり(Va) 羽川真介(Vc) 青山聖樹(OB)
【曲目】ブラームス: 弦楽四重奏曲第1番 他
【料金】指定4,000 学生3,500
◎アンサンブル of トウキョウ 03-3426-2010

9日 19:00

東京シフォニエッタ第49回定期演奏会

【出演】板倉康明(Cond) 坂井俊博(Tp) 高橋敦(Tp) 東京シフォニエッタ 【曲目】ジョリヴェ: トランペット小協奏曲 他 【料金】自由4,000 学生2,000
◎AMATI 03-3560-3010

10日 14:00

渡辺香津美(Gt) meets 押尾コータロー(Gt) コンサート

【料金】指定6,200
◎東京音協 https://t-onkyo.co.jp/

11日 14:00

東京音楽コンクール入賞者リサイタル 岡 昭宏バリトン・リサイタル

【出演】岡 昭宏(Br) 谷池重袖子(Pf)
【曲目】ヴェルディ: 歌曲「ドン・カルロ」より「終わりの日は来た~私は死にゆきます」他
【料金】自由3,500 学生2,000
◎岡 昭宏リサイタル実行委員会 okaakihiro.info@gmail.com

12日 19:00

吉村真代 ピアノ・リサイタル

【曲目】ブラームス: 6つの小品 他
【料金】自由4,000
◎アルベジオ音楽企画 03-3418-5344

13日 19:00

新納洋介 ピアノ・リサイタル

【曲目】ラフマニノフ: 10の前奏曲より 第1番~第6番 他 【料金】自由3,500 学生2,000
◎新演コンサート 03-6384-2498

15日 18:30

主催公演
創造・楽落`夜`らいぶVol.57
—音楽家と落語家のコラボレーション—

【出演】春風亭愛橋(落語) Castle In The Air (谷川公子[ピアノ]、渡辺香津美[ギター]) マグナム小林(バイオリン漫談) 【内容】第1部: ミニコンサート 第2部: バイオリン漫談・落語と音楽のコラボレーション「お菊の皿」(イラスト&英語字幕付) 【料金】指定1,650

16日 19:00

橘高昌男 ピアノ・リサイタル

【曲目】シューマン: 幻想小曲集 他
【料金】自由4,000 学生2,500
◎オーパス・ワン 03-5577-2072

17日 14:00

吉岡孝悦作曲個展2021

【出演】吉岡孝悦(Pc) 塩浜玲子(Pc) 黒川正宏(Pc) 古徳景子(Pc) 柴原 誠(Pc) 大熊理津子(Pc) 混声合唱フローラ 【曲目】吉岡孝悦: 混声合唱と4人の打楽器奏者のためのコスモフラワー 他 【料金】自由4,500(当日5,000)
◎スーパーマリンパプロジェクト 03-5721-0570

18日 14:00

藤原功次郎トロンボーン・リサイタル in 東京文化会館~こじこじランド2021~

【出演】藤原功次郎(Tb) ゲスト(調整中)
【曲目】トロンボーン無伴奏作品 委嘱作品 他
【料金】指定3,000 学生1,500
◎藤原 080-5524-0801

19日 18:30

日本テレマン協会第280回定期演奏会

【出演】高田泰治(Cem) 【曲目】J.S.バッハ: 平均律クラヴィア曲集第1巻 【料金】自由4,000 65歳以上2,000
◎日本テレマン協会 06-6345-1046

24日 14:00

新作歌曲の会 第21回演奏会

【出演】鎌田直純(Br) 横山和彦(T) 紙谷弘子(Ms) 森 朱美(S) 他 【曲目】和泉耕二による新作歌曲 他 【料金】自由4,000
◎新作歌曲の会 090-7287-9527

25日 11:00 14:00 16:30

主催公演 関連情報P12
夏休み子ども音楽会2021
《上野の森文化探検》

【出演】東京都交響楽団メンバーによる弦楽四重奏アンサンブル 山田剛史(Pf)
【曲目】シューマン: ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44より 第1楽章 他 【料金】小中学生1,100(全席共通) 大人S2,200 A1,100

主催公演 関連情報P12
東京文化会館 ミュージック・ワークショップ
「One Day セッション」
【料金】550

27日 19:00

ゼフィルス・ピアノ五重奏団 第2回定期演奏会

【出演】兼重稔宏(Pf) 尾池亜美(Vn・Va) 湯本亜美(Vn・Va) 山田麻実(Vn) 森山涼介(Vc) 【曲目】エネスク: ピアノ五重奏曲 他
【料金】指定3,000 学生1,500
◎ゼフィルス・ピアノ五重奏団 050-6864-4752

28日 11:00

主催公演
上野 de クラシック Vol.58 秋山紗穂(ピアノ)

【曲目】シューマン: 謝肉祭 他
【料金】指定1,100

19:00

新進演奏家育成プロジェクト
リサイタル・シリーズTOKYO102
木田悠子 ソプラノ・リサイタル

【出演】木田悠子(S) 末次香織(Pf)
【曲目】ヴェルディ: オペラ「リゴレット」より「慕わしい人の名は」他 【料金】指定2,500
◎日本演奏連盟 03-3539-5131

29日 13:00 15:30 18:15

東京音楽大学 ピアノ演奏会~ピアノ演奏家コース成績優秀者による~

【出演】大学1~4年 ピアノ演奏家コース成績優秀者 【曲目】ピアノ独奏曲 【料金】指定無料
◎演奏会お問い合わせ窓口 03-6379-3788

31日 14:00


清水理恵 ソプラノ・リサイタル

【出演】清水理恵(S) 神田 将(エレクトーン)
【曲目】ヴェルディ: 歌劇「椿姫」より「ああ、そはかの人か~花から花へ~」他
【料金】指定5,000
◎Ro-Onチケット 047-365-9960

東京文化会館チケットサービスのご案内

当館で開催される、オペラ、バレエ、クラシックコンサート等のチケットを多数取り揃えております。窓口、お電話の他、webでもご購入いただけます。ぜひご利用ください。

営業時間 10:00~19:00(窓口)、10:00~18:00(電話)
TEL 03-5685-0650
WEB t-bunka.jp/tickets/
休業日 6月7日(月)・8日(火)
7月20日(火)・21日(水)
9月13日(月)・14日(火)・30日(木)



◎掲載情報は2021年5月18日現在のものです。
◎主催者等の都合により、公演内容が変更になる場合があります。
また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。
詳しくは各主催者にお問合せください。

アルト(A) / アコーデオン(Ac) / アルトサクソ(A-Sax) / ベース(Ba) / バンドネオン(Bn) / バリトン(Br) / バリトンサクソ(Br-Sax) / バス(Bs) / バスバリトン(Bs-Br) / コントラバス(Cb) / 児童合唱(C-Cho) / チェンバロ(Cem) / コーラス(Cho) / クラリネット(Cl) / 作曲(Comp) / 指揮(Cond) / コルネット(Cort) / カウンターテナー(CT) / ドラムス(Ds) / ユーフォニアム(Eu) / 女声合唱(F-Cho) / ファゴット(Fg) / フルート(Fl) / フォルテピアノ(Fp) / ギター(Gt) / ハーモニカ(Hmc) / ハープ(Hp) / ホルン(Hr) / キーボード(Key) / リュート(Lu) / マンドラ(Ma) / マリンバ(Mar) / メゾソプラノ(Ms) / オーボエ(Ob) / オルガン(Og) / パーカッション(Pc) / ピアノ(Pf) / リコーダー(Rec) / ソプラノ(S) / サクソ(Sax) / ソプラノサクソ(S-Sax) / シンセサイザー(Syn) / テノール(T) / トロンボーン(Tb) / ティンパニ(Tim) / トランペット(Tp) / テナーサクソ(T-Sax) / テューバ(Tu) / ヴィオラ(Va) / チェロ(Vc) / ヴィブラフォン(Vib) / ヴァイオリン(Vn) / ヴォーカル(Vo)

4 日 14:00

7 日 14:00

主催公演 関連情報 P9

オペラ夏の祭典 2019-20 Japan ↔ Tokyo ↔ World

『ニュルンベルクのマイスタージンガー』

【演出】オペラ『ニュルンベルクのマイスタージンガー』（新制作）全3幕 原語（ドイツ語）上演 日本語・英語字幕付

【作曲】ワーグナー

【指揮】大野和士

【演出】イェンス＝ダニエル・ヘルツォーク

【出演】ザックス：トーマス・ヨハネス・マイヤー

ボーグナー：ピャーニ・トール・クリスティンソン

ベックメッサー：アドリアン・エレート

ヴァルター：ノルベルト・エルンスト

ダーヴィット：望月哲也

エーファ：林 正子

フォーゲルゲザング：村上公太

ナハティガル：近藤 圭

コートナー：青山 貴

ツォルン：秋谷直之

アイスリンガー：鈴木 准

モーザー：伊藤達人

オルテル：友清 崇

シュヴァルツ：長谷川 顕

フォルツ：妻屋秀和

マグダレーネ：小林由佳

夜警：ギド・イェンティンス

【合唱】新国立劇場合唱団、二期会合唱団

【管弦楽】東京都交響楽団

【料金】S29,700 A23,100 B18,700 C14,300

D9,900 E5,500 F3,300 25歳以下3,300

13 日 14:00

14 日 14:00

15 日 14:00

16 日 14:00

19 日 14:00

20 日 14:00

21 日 14:00

22 日 14:00

第16回世界バレエフェスティバル

Aプログラム 8月13日～16日

Bプログラム 8月19日～22日

【演出】古典バレエからコンテンポラリーまでバレエの名場面集

【出演】世界各国の超一流バレエ団のトップダンサーたちが総出演

【指揮】ワレリー・オブジャニコフ、ロベルタス・セルヴェニカス

【管弦楽】東京フィルハーモニー交響楽団

【料金】S27,000 A24,000 B21,000

C17,000 D13,000 E9,000

ⓂNBSチケットセンター 03-3791-8888



©Kiyonori Hasagawa

27 日 16:00

29 日 16:00

31 日 17:00

主催公演

第19回東京音楽コンクール 本選

【出演】第2次予選通過者

【27日】弦楽部門

指揮：角田鋼亮

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

【29日】声楽部門

指揮：大井剛史

管弦楽：東京交響楽団

【31日】木管部門

指揮：梅田俊明

管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団

【料金】指定2,200

15 日 13:30

上森祥平 × J.S.バッハ × B.ブリテン 無伴奏チェロ組曲全曲演奏会 2021

【曲目】J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲全6曲

ブリテン：無伴奏チェロ組曲全3曲

【料金】指定4,000 学生2,000

Ⓜミリオコンサート協会 03-3501-5638

16 日 19:00

菱沼智明 ピアノ・リサイタル ショパンのタペ

【曲目】ショパン：ノクターン 8作品 他

【料金】自由4,000 ペア7,000 大学生以下

2,000

Ⓜ音楽工房カスターリエン 045-932-4472

17 日 11:00

主催公演

東京文化会館

ミュージック・ワークショップ

『はじめてクラシック～ピアノ～』

【出演】古橋果林（東京文化会館ワークショップ

プ・リーダー）深貝理紗子（Pf）【曲目】モー

ツァルト：きらきら星変奏曲 他 【料金】550

19:00

浅井隆仁&小木曾美津子

リート・リサイタル

ティークのマゲローネによるロマンス

【出演】浅井隆仁（Br）小木曾美津子（Pf）松

本幸二（朗読）【曲目】ブラームス：ティークの

マゲローネによるロマンス 【料金】自由4,000

（当日4,500）学生3,000（当日3,500）

Ⓜソナーレ・アートオフィス 03-5754-3102

18 日 19:00

軽井沢プラチナアンサンブル 東京公演

横山幸雄とN響メンバーが奏でる

ショパン ピアノ協奏曲 第1番&第2番

【出演】横山幸雄（Pf）宇根京子（Vn）大林修

子（Vn）飛澤浩人（Va）藤森亮一（Vc）

【曲目】ショパン：ピアノ協奏曲第1番&第2番

（室内楽版）【料金】SS9,000 S8,000

A6,000 B4,000

Ⓜアトリエブルックス

brooks20210818@gmail.com

19 日 19:00

第32回 東京ベーターヴェンカルテット

定期演奏会

【出演】塗矢真弥（Vn）水村浩司（Vn）中川裕

美子（Va）奈切敏郎（Vc）【曲目】ベーターヴェ

ン：弦楽四重奏曲第16番 他 【料金】自由

4,500

Ⓜ響の会 03-3392-1250

20 日 15:00

第15回二期会研究会駅伝コンサート

【出演】オペレッタ研究会 イタリアオペラ研究

会 日本歌曲研究会 ロシア東欧オペラ研究会

英語の歌研究会 ロシア歌曲研究会 イタリア歌

曲研究会 ドイツ歌曲研究会 【曲目】R.シュトラ

ウス：献呈 他 【料金】自由4,000 学生2,000

Ⓜ二期会チケットセンター 03-3796-1831

21 日 11:00

主催公演

第19回東京音楽コンクール 第2次予選

【出演】第1次予選通過者

【21日】弦楽部門

【22日】声楽部門

【23日】木管部門

【料金】指定1,100

22 日 11:00

23 日 11:00

24 日 18:30

第38回ソレイユ声楽コンクール入賞者

及び入選者発表コンサート

【料金】自由3,000

Ⓜソレイユ音楽事務所 03-3863-5552

26 日 19:00

新進演奏家育成プロジェクト

リサイタル・シリーズ TOKYO103

入川 舜 ピアノ・リサイタル

【曲目】ジェフスキ：「不屈の民」変奏曲 他

【料金】指定2,500

Ⓜ日本演奏連盟 03-3539-5131

27 日 19:00

印田千裕 ヴァイオリン・リサイタル

【出演】印田千裕（Vn）安田正昭（Pf）

【曲目】バルトーク：ヴァイオリン・ソナタ第1番

他 【料金】自由3,500（当日4,000）

Ⓜ印田 047-482-3171

28 日 14:00

風の旅カルテット コンサート

【出演】西浦詩織（Vn）稗田隼人（Gt）日野真

奈美（Fl）飯尾久香（Vc）【曲目】コレッリ：

ヴァイオリン・ソナタ ニ短調「ラ・フォリア」他

【料金】指定5,000

ⓂRo-On チケット 047-365-9960

29 日 13:00

第16回 DOCOMOMO

国際会議 2020+1 東京

国立西洋美術館シンポジウム

【登壇】山名善之（東京理科大学）他

【内容】基調講演

【料金】入場無料（事前予約制）

ⓂDOCOMOMO Japan 事務局

03-6261-7882

30 日 14:00

中尾 純 スクリャービン

ピアノ・ソナタ全曲演奏会 I

【曲目】スクリャービン：ピアノ・ソナタ第3番

他 【料金】自由5,000

Ⓜモデラート音楽企画

music.moderato@gmail.com

8 日 18:30
9 日 14:00
11 日 14:00
12 日 14:00

東京二期会オペラ劇場 <二期会名作オペラ祭>『魔笛』

【演目】オペラ『魔笛』全2幕
原語(ドイツ語)上演 日本語字幕付
【作曲】モーツァルト
【指揮】リオネル・ブランギエ
【演出】宮本亞門
【出演】
ザラストロ： 妻屋秀和 斉木健詞
タミーノ： 金山京介 市川浩平
弁者： 久保和範 河野鉄平
僧侶I： 杉浦隆大 的場正剛
僧侶II： 栗原 剛 澤原行正
夜の女王： 安井陽子 高橋 維
パミーナ： 嘉目真木子 盛田麻央
侍女I： 北原瑠美 角南有紀
侍女II： 成田伊美 宮澤彩子
侍女III： 石井 藍 岡村彬子
パパゲーナ： 種谷典子 守谷由香
パパゲーノ： 萩原 潤 近藤 圭
モノスタトス： 高橋 淳 升島唯博
武士I： 与儀 巧 今尾 滋
武士II： 高崎翔平 金子慧一
【合唱】二期会合唱団
【管弦楽】読売日本交響楽団
【料金】<二期会名作オペラ祭>特別料金
S12,000 A10,000 B9,000
C8,000 D6,000 学生2,000
◎二期会チケットセンター 03-3796-1831
チケットスペース 03-3234-9999



リオネル・ブランギエ ©Simon Pauly 宮本亞門 ©三枝近志

東京バレエ団 古典全幕上演

【演目】未定
【料金】未定
◎NBSチケットセンター 03-3791-8888

24 日 未定
25 日 未定
26 日 未定

27 月 19:00

東京都交響楽団 第935回定期演奏会Aシリーズ

【指揮】ローレンス・レネス
【出演】タベア・ツインマーマン (Va)
【曲目】プロコフィエフ：交響曲第5番 変ロ長調 Op.100 他
【料金】S7,000 A6,000 B5,000 C4,000 Ex2,700
◎都響ガイド 0570-056-057



ローレンス・レネス ©Claudine Grin



タベア・ツインマーマン ©Marco Borggreve

28 日 19:00

キエフ・クラシック・バレエ『白鳥の湖』

【演目】バレエ『白鳥の湖』全2幕
【音楽】チャイコフスキー
【出演】キエフ・クラシック・バレエ
【料金】指定5,000
◎インプレサリオ東京チケットセンター 03-6264-4221



29 日 18:30

UENOの森のHIROSHI 2021

【出演】HIROSHI (Pf)
【料金】S5,000 A4,000
◎Ro-Onチケット 047-365-9960

1 日 17:00

一般社団法人日本ピアノ調律師協会 関東支部 第22回 新人演奏会

【出演】音楽大学ピアノ科卒業生13名による独奏 【料金】自由2,000
◎日本ピアノ調律師協会 03-3257-0440

4 日 11:00 14:30

東京文化会館 ミュージック・ワークショップ

【料金】550

5 日 未定

東京文化会館 ミュージック・ワークショップ

【料金】未定

6 月 19:00

田代慎之介 ピアノ・リサイタル

【曲目】リスト：『超絶技巧練習曲』より第4番「マゼッパ」他 【料金】自由3,000
◎プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

8 日 19:00

白石光隆 ピアノ・リサイタル Vol.34

【曲目】トレネ=ワイセンベルク：6つの歌曲より他 【料金】自由4,000
◎プロ アルテ ムジケ 03-3943-6677

9 日 11:00

創遊・楽落らいぶ Vol.58 一音楽家と落語家のコラボレーション

【出演】三遊亭とん馬(落語)他 【内容】第1部：ミニコンサート 第2部：落語と音楽のコラボレーション「稽古屋」 【料金】指定1,100

19:00

新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズTOKYO104 井阪美恵 ヴァイオリン・リサイタル

【出演】井阪美恵(Vn) 栗原麻樹(Pf) 村上敏明(T) 【曲目】サン=サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ 他 【料金】指定2,500
◎日本演奏連盟 03-3539-5131

10 日 19:00

木村 大 ギター・コンサート

【曲目】ロドリゴ：アランフェス協奏曲 他 【料金】指定4,500
◎東京音協 https://t-onkyo.co.jp/

11 日 14:00

今野尚美 ピアノ・リサイタル ~ Daydream

【曲目】ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第31番 他 【料金】自由4,000 学生3,000
◎ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

12 日 14:00

花岡千春 ピアノ独奏会

【曲目】フォーレ：組曲「ドリー」(コルトー編曲による独奏版) 他 【料金】自由4,000 学生2,000
◎新演コンサート 03-6384-2498

18 日 15:00

主催公演 東京文化会館オペラBOX 「スペシャルハイライト Vol.1」

【演目】『泣いた赤おに』『魔笛』『ヘンゼルとグレーテル』【指揮】須藤桂司 【演出】恵川智美
【出演】盛田麻央(S) 宮里直樹(T) 岡 昭宏(Br) 中江早希(S) 種谷典子(S) 砂川涼子(S) 小堀勇介(T) 寺田功治(Br) 鷲尾麻衣(S) 富岡明子(Ms) 高橋華子(Ms) 八木寿子(Ms) 高橋洋介(Br) 朝岡 聡(MC) コーラス・ボックス(合唱) リトルボックス(児童合唱・合奏) 他 【料金】指定3,850

19 日 15:00

主催公演 東京文化会館オペラBOX 「スペシャルハイライト Vol.2」

【演目】『椿姫』『トスカ』『カルメン』【指揮】須藤桂司 【演出】恵川智美
【出演】清水理恵(S) 工藤和真(T) 清水勇磨(Br) 上田純子(S) 宮里直樹(T) 岡 昭宏(Br) 迫田美帆(S) 向野由美子(Ms) 八木寿子(Ms) 村上敏明(T) 高橋洋介(Br) 朝岡 聡(MC) コーラス・ボックス(合唱) リトルボックス(児童合唱・合奏) 他 【料金】指定3,850

20 日 13:30

二期会新進声楽家コンサート

【出演】二期会オペラ研修所第64期マスタークラス成績優秀者18名 【曲目】歌曲、オペリアリア 【料金】指定3,000
◎二期会チケットセンター 03-3796-1831

21 日 19:00

新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズTOKYO105 蔭井清夏 ヴァイオリン・リサイタル

【出演】蔭井清夏(Vn) 山崎早登美(Pf) 【曲目】R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ 他 【料金】指定2,500
◎日本演奏連盟 03-3539-5131

22 日 11:00

主催公演 上野 de クラシック Vol.59 若林 毅(チューバ)

【出演】若林 毅(Tu) 宮阪優奈(Pf) 【曲目】C.シューマン：3つのロマンス 他 【料金】指定1,100

19:00

松岡 淳 ピアノ・リサイタル 「ピアノの交響楽」Vol.II

【曲目】ベートーヴェン=リスト：交響曲第7番 他 【料金】自由3,500
◎チカモトオフィス 090-4747-2882

23 日 14:00

2021年 高橋竹山 津軽三味線演奏会 竹山三味線口説~我が耳に聴き、我が声に乗せて語る~

【曲目】津軽じょんから節 他 【料金】指定5,500
◎Ro-Onチケット 047-365-9960

24 日 19:00

主催公演 プラチナ・シリーズ第1回 ライナー・キュッヒル ~ドイツ3大B+1のヴァイオリン・ソナタ~

【出演】ライナー・キュッヒル(Vn) 加藤洋之(Pf) 【曲目】ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ第1番「雨の歌」 他 【料金】S5,500 A4,400 B2,750 25歳以下1,100

25 日 14:00

梯 剛之 ピアノ・リサイタル2021

【曲目】シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番 他 【料金】指定4,000 ペア3,500 学生2,500
◎ソナーレ・アートオフィス 03-5754-3102

26 日 14:00

中村静香(Vn・Va) & 深沢亮子(Pf) デュオ・リサイタル

【曲目】ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第5番「春」 他 【料金】自由5,000 学生3,000
◎ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

27 日 18:45

日本モーツァルト協会 第631回例会

【出演】ドビュッシー-弦楽四重奏団 【曲目】モーツァルト：レクイエム ニ短調 K626(リヒテンタール版) 他 【料金】自由5,000 学生2,000
◎日本モーツァルト協会 03-5467-0626

28 日 19:00

マリアン・コンソート

【出演】マリアン・コンソート(Cho) 【曲目】ウィリアム・バード：4声のミサ曲 他 【料金】S6,500 A5,000
◎アレグロミュージック 03-5216-7131

29 日 19:00

古典音楽協会 第160回定期演奏会

【出演】角道 徹(Vn) 新谷絵美(Vn) 石橋雅一(Ob) 石橋礼子(Cem) 他 【曲目】カール・シュターミツ：ヴァイオリンとヴィオラの協奏交響曲 他 【料金】指定4,000 自由3,500
◎コンサートプロジェクト北星 03-3384-1482



4月7日、「東京文化会館 パースデーコンサート」を開催しました。東京文化会館が開館したのは、1961年の4月7日。その約1ヶ月後に生まれたという佐渡裕が、当日の指揮を務めました。日本を代表するメゾソプラノの藤村実穂子が、東京都交響楽団とともにワーグナーの「ヴェーゼンドク歌曲集」を披露し、後半は60年前の開館日に奏でられた「新世界交響曲」。演奏後、佐渡はマイクを手に舞台に戻り、東京文化会館のこ

けら落とし公演の一環で初来日を飾った師バーンスタインの思い出にも触れました。「この60年の間に、東京文化会館からたくさんの音楽家やたくさんの聴衆が育ちました。まさにここは“文化の畑”だと思います」

アンコールの2曲目には、「ハッピーパースデートゥーユー」のモチーフを使用したストラヴィンスキーの「グリーティング・プレリユード」が演奏され、嬉しい驚きと大きな拍手を誘いました。

東京文化会館情報誌「オンミヤク」

音脈 Vol.83
2021
Summer

令和3年5月31日発行（年4回発行）

発行

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

〒110-8716
東京都台東区上野公園5-45
03-3828-2111 (代)

Twitter @tbunka_official

東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650
t-bunka.jp/tickets/



t-bunka.jp

企画・編集

東京文化会館 広報担当

デザイン

株式会社ファントムグラフィックス

印刷・製本

株式会社外為印刷

アクセス

- JR上野駅公園口より徒歩1分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩5分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩7分

